

古代瓦を葺く

千年の 瓦



IRAKA A Millennium of Tile Roofing

2017年 8月21日(月) - 10月6日(金)
GALLERY A⁴ ギャラリーエークワッド

開館時間/10:00-18:00 (最終日は17:00まで) 休館日/日曜・祝日 入館料/無料
主催/公益財団法人 竹中大工道具館 共催/公益財団法人 ギャラリーエークワッド 特別協力/山本瓦工業株式会社
協力/鶯工舎、元興寺、竹中工務店、唐招提寺、東大寺、法隆寺、薬師寺

千年の瓦

IRAKA A Millennium of Tile Roofing
古代瓦を葺く

元興寺極楽堂と禅室の屋根には千四百年の風雪に耐えて今なお現役で建物を守り続けている飛鳥時代の瓦があります。土を練って焼き上げるだけで、千年も屋根の葺材として使うことができるのです。一体誰がどのようにして作り上げたのでしょうか。本展ではそうした長寿命の古代瓦にスポットをあて、瓦のつくり方、葺き方について、建築という切り口から瓦を読み解いていきます。瓦の葺き方がわかる実寸大の屋根模型をはじめ、瓦の製作道具、職人が手書きした瓦の原寸図、葺く工程などを映像とともに解説します。また普段屋根の上にあつてなかなかみることのない迫力ある鷗尾、造形豊かな鬼瓦や軒瓦も目の高さでご覧いただけます。瓦に込められた職人の技と心をぜひ会場にてご覧ください。



1 原材料の土 (左から土になる前の腐木、田土、山土) | 2 古代の平瓦づくり
3、4 古代瓦の製作道具 (一部) | 5 瓦の選別道具 | 6 瓦を葺く道具 (一部)
7 唐招提寺金堂の鷗尾 | 8 軒平瓦の木型 | 9 東大寺の鬼瓦 | 10 薬師寺の軒瓦
11 東大寺大仏殿昭和大修理 *3、4、7~10は復元品

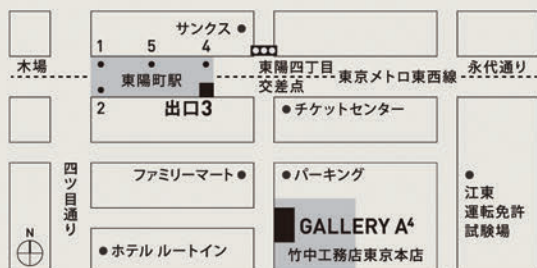
ギャラリーエークワッド

TEL 03-6660-6011

<http://www.a-quad.jp>

東京都江東区新砂1-1-1 (竹中工務店東京本店1F)

東京メトロ東西線「東陽町駅」下車、出口3番より徒歩3分



映像作品

会場にて「古代瓦をつくる」、「唐招提寺金堂～天平の技に挑んだ男たち」、「鬼師」(いずれも仮称、各15～20分)を上映します。

特別展示として、
姫路城天守閣の鯨も
ご覧いただけます。



※展示の内容は変更になることがあります。最新の情報は公式サイトにてご確認ください。
公式サイト <http://www.a-quad.jp>

本展は下記の会場を巡回します。

神戸会場 | 2017年10月14日(土) - 12月3日(日) 竹中大工道具館